



2026年2月13日

各 位

会社名 エステールホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 丸山 雅史  
(コード: 7872 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理本部長 横内 達治  
電話番号 03-6628-8480

## 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2026年3月期第3四半期連結会計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりました。また、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社グループにおいては、店舗退店時の原状回復費用として資産除去債務を計上しておりますが、昨今の資材価格や人件費の高騰を考慮し、原状回復費用の見直しを行った結果、過年度に計上していた資産除去債務との差額80百万円を新たに計上いたしました。また、2026年1月以降の店舗閉鎖に伴う減損損失として54百万円を計上いたしました。

#### 2. 業績予想の修正

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 31,700	百万円 420	百万円 440	百万円 52	円 銭 4.96
今回修正予想 (B)	32,000	270	260	△450	△42.94
増減額 (B-A)	300	△150	△180	△502	
増減率 (%)	0.94	△35.71	△40.90	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	31,271	188	316	△345	△32.94

#### 3. 修正の理由

売上高は、不採算店などの閉店（宝飾品15店舗、食品販売・飲食店2店舗）を行う一方、商品展開の見直しや人材育成を進めた結果、32,000百万円（前回発表予想比0.94%増）と微増収になる見込みです。

利益面においては、金相場の急激な上昇などに伴う原価の上昇や人件費の高騰などの影響により、営業利益は270百万円（同35.71%減）となり、経常利益は、為替差損などにより260百万円（同40.90%減）となる見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上述の店舗退店時の原状回復費用の見直しに伴う資産除去債務の計上や店舗閉鎖による減損損失の拡大、2025年11月14日付の開示「特別損失及び過年度法人税等の計上に関するお知らせ」の遊休資産の減損損失や海外子会社における過年度法人税等の修正申告及び追加納付などにより450百万円の損失（前回発表予想は52百万円の利益）となる

見込みとなり、当初の予想を下回る見込みとなりました。

なお、2026年3月期の期末配当予想につきましては、2025年5月14日に公表しました1株当たり27円の配当予想から変更はございません。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上